



風っ子・環境キャンペーン



花いっぱいのはな川駅前広場で岸さん(写真後列左)とメンバー。毎月第2、4水曜日の朝8時から9時まで活動しています

渋川市

花の力でポイ捨て激減 駅前も心もピカピカに 特定非営利活動法人 渋川広域ものづくり協議会

渋川駅前広場の花は、黄色、オレンジ、紫、ピンク、と一年を通して色とりどりの花が咲き、通して色とりどりの花が咲き、

活動が始まったのは、8年前ほど前。県外からやって来る人たちをたくさんの花で迎えたい、駅を利用する人たちの憩いの場をつくりたいと、殺風景だった駅前広場に1000株を超える花を植え始めました。年に3〜4回は植え替えをし、今の時期はシニア、ブルーサルビア、アジサイが美しさを競い合っています。秋の終わりにになると、パシッ、ビオラ、葉ボタンに変わります。

毎月2回は、枯れた花がらを摘んだり、元気のない株を替えたりするお手入れ日。強い日差しが照り付ける日も、空の風が吹き付ける日もありますが「大変だと思っただけではありません」と代表の岸邦夫さんは笑顔で話します。自分の子どものように大切に育てている花が成長する様子や、花の前に置いたベンチに座ってくつろぐ人を見られるのがやりがいだそうです。



咲き終わった花を摘んだり、草むしりをしたりするメンバー

「きれいな花に触れると、心も晴れやかになります」と岸さん。夏休みのボランティアも大歓迎だそうですよ。

そして、もうひとつ、大きな励みとなる変化がありました。それは、ごみがほとんどなくなっただこと。それまで目立っていたタバコの吸い殻やレジ袋などのポイ捨てが、花を植えるようになってからは激減したのだそうです。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

特定非営利活動法人 渋川広域ものづくり協議会

代表 岸邦夫 100人
渋川市渋川2011番地9
TEL.0279-20-1400
<http://monodukuri.gunmablog.net/>

花を通じた環境美化や、地球温暖化防止を目的としたゴーヤのグリーンカーテンを広げる活動をしています。昨年「全国花のまちづくりコンクール」で団体部門最高賞の農林水産大臣賞を受賞しました。



きれいな花がいっぱいだね
群馬県のマスコット「くんまちゃん」許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

テレビを見る時間を減らしてエコな生活

みなさんは、普段テレビを見るとき、どんなふうに見ていますか？見えていないのに、テレビをつけっぱなしにする、なんてことをしていませんか？テレビをつけっぱなしにしていると、電気代がかかるだけでなく環境にもよくない影響を及ぼします。1時間テレビをつけていると、二酸化炭素を40g発生させていることになります。テレビを見る時間を1時間減らすだけで、たくさんの二酸化炭素を減らすことができますね。地球に優しい生活をするために、簡単なことから始めてみましょう。

群馬県環境サポートセンター